

楽しく安全なドライブのために

「安全な速度」と「車間距離」に注意

高速道路での死亡事故は約**12%**がスピードの出しすぎ！
安全な速度を守りつつ、さらに車間距離を十分とることで思わぬ事故と渋滞を防ぐことができます。
制限速度を守り車間距離を十分にとって走行しましょう。



「あおり運転」は絶対ダメ！

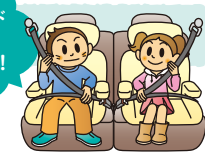
他車への後方からの異常接近、幅寄せ、急な割込み、クラクションやハイビームによる威嚇は大変危険な行為です。大事故につながりますので絶対にしないでください。



全席シートベルト着用

シートベルトを着けていないことによる事故時の致死率は約**14倍**となります。
シートベルトは全席で着用し、6歳未満の子供はチャイルドシートを必ず使用しましょう。

チャイルドシートも忘れずに！



居眠り・わき見運転に注意！

スマートフォンや、景色などに気をとられるわき見運転、長時間の連続運転が原因のぼんやり運転による事故が多く発生しています。運転中は運転に集中し、2時間以内に1度は休憩施設で休憩をとるようにしましょう。



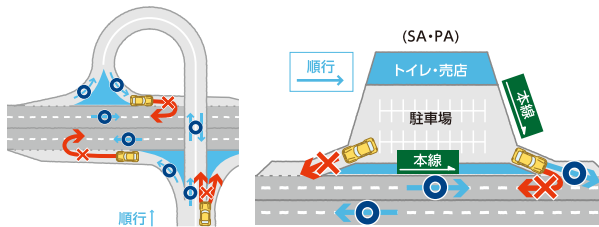
動物に注意

シカやキツネなどが不意に飛び出てきて、事故になることがあります。前方をよく注視して走行しましょう。もし高速道路上で動物をみかけた場合は非常電話等から通報してください。



逆走に注意

高速道路は一方通行です。行き先を間違った場合でも本線上や料金所、休憩施設付近でのUターンやバックは絶対にしないでください。
自分が逆走していると気づいたら安全な場所に車を停車させ通報してください。
逆走車を発見したときは非常電話等から通報してください。



トラブル発生時の対応

事故や故障が発生したり、逆走してしまったとき

① 車両を路肩へ移動	② 通報してください	③ 安全なところへ避難
<p>車両を路肩へ移動し、ハザードランプを点灯してください。 停車後は発炎筒や三角表示板を使用し、後続車へ合図しましょう。</p>	<p>通報手段は下記の3つです。</p>	<p>後続車による衝突事故を避けるため、車道にとどまらず路外や路肩へ避難しましょう。</p>
① 110番・119番	② 非常電話	③ 道路緊急ダイヤル #9910
<p>① 携帯電話で「110」「119」とダイヤル ② 警察・消防に場所や状況をお話ください。</p>	<p>① 扉を開ける ② 受話器を持ち上げる ③ 道路管制センターにつながりますので、場所や状況をお話ください。</p>	<p>① 携帯電話で「#9910」とダイヤル ② 音声ガイダンスに従いダイヤル 有料道路(高速道路)・・・「1」 その他の道路(一般道)・・・「2」 ③ 音声ガイダンスの後、道路管制センターにつながりますので、場所や状況をお話ください。</p>

※事故や故障により車両が動かない場合は、レッカー車の手配をお願いします。

トンネル内で火災が発生したら

① 通報してください	② 安全を確かめて、初期消火	③ 火災が拡大したら避難
<p>「トンネル内非常電話」か「押しボタン式通報装置」で通報</p>	<p>「消火器」か「消火栓」で消火</p> <p>消火器や消火栓は50m間隔で設置 安全が確保できる場合のみご協力をお願いします</p>	<p>「出口」か「非常口」へ避難</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 車を左に寄せ、エンジンを停止 2. ドアロックはしない 3. キーはつけたまま誘導避難標識で方向を確認

トンネル入口情報板に「進入禁止」が出ていたら

- ① トンネル内で事故や火災が発生しています。トンネルには入りしないでください。
- ② ハザードランプを点灯させ、車両を左に寄せて停止してください。

